

「垂水中央中学校のふるさと垂水『史跡巡り』の取組」

1 学校名

垂水市立垂水中央中学校

2 学年・人数

3年生（計87人）

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

令和4年9月

学習会：総合的な学習の時間

令和4年9月27日（火）史跡巡り

お長屋，有馬邸，島津家墓地，宇喜多秀家潜居地，
居世神社，埋没鳥居，中村家，御仮屋

令和4年10月～11月 まとめ

(2) 発表の日時・場所

令和4年11月13日（日）垂水市立垂水中央中学校 第13回文化祭

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ お長屋（おながや），御仮屋（おかりや），島津家墓所（しまづけぼしょ），宇喜多秀家潜居地（うきたひでいせんきょち）：江戸時代（初期を含む）
- ・ 有馬邸（ありまてい），中村家（なかむらけ）：明治，大正，昭和
- ・ 居世神社（こせじんじゃ）：近世
- ・ 埋没鳥居（まいぼつとりい）：大正

(2) 特徴

垂水地区にあるお長屋（垂水小学校敷地内）や近くにある島津家墓所，更に新城地区にある御仮屋跡など，垂水島津氏に関する史跡について学んだ。また，松ヶ崎地区では，関ヶ原の合戦における西軍の武将の一人である宇喜多秀家潜居地において，関ヶ原合戦後の島津氏と宇喜多秀家に関する逸話が紹介された。

また，松ヶ崎地区では，桜島大正大噴火の火山灰による埋没鳥居を見学し，垂水市における自然災害史についても学ぶことができた。

5 保存会や地域との連携の具体

事前に担当職員と垂水市文化財保護審議員の方が数回にわたって打合せを行い，垂水市内の史跡をピックアップし，訪問する史跡を絞り込み，コース設定を行った。史跡巡り当日は，垂水史談会の方がガイドとして3人いらっしやり，各史跡での説明はもちろんのこと，バスに添乗して移動時にも様々な説明を行っていただいた。

6 活用の取組の工夫した点

生徒は，史跡巡りが終わった後に，自分の興味をもった史跡を選び，自分で資料を図書館から借りたり，ガイドの方の話も参考にしたりしながら，選んだ史跡をテーマとした「史跡巡り新聞」を制作し，文化祭で展示発表した。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



史跡巡り



文化祭での展示

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒】

- ・ これまで垂水に住んでいて、行ったことがない所もあった。初めて聞く話もあって面白かった。垂水には、まだまだ知らないことがたくさんあるなあと考えた。
- ・ 文化祭では、多くの人が史跡巡り新聞の所で立ち止まって、見てくださっていた。これからももっと調べてみたいと思った。

【教職員】

史跡巡りを終えた際に、ガイドの方から話を聞いて、自分たちの住んでいる地域に様々な史跡があったり、歴史が隠れていたりすることを知って驚いている生徒もいた。このことが地域を誇りに思うとともに、次の学習意欲につながってほしいと考える。

【地域の方から】

このような機会を通して、垂水の歴史や文化をもっと知って学んでほしい。将来、垂水のよさを自分から紹介できる人になってほしいと思う。